

芙蓉

vol. 36

2012.4.10 発行



岩本山公園



社会福祉法人 芙蓉会

〒417-0001 静岡県富士市今泉2220番地
TEL (0545) 52-0402 FAX (0545) 55-1119
<http://www.fuyoukai.org>

児童養護施設	ひまわり園	TEL.0545-52-0402
地域小規模児童養護施設	ひろみ	TEL.0545-22-1281
乳児院	恩賜記念みどり園	TEL.0545-53-5665
特別養護老人ホーム	みぎわ園	TEL.0545-55-1800
ショートステイ	みぎわ園	TEL.0545-55-1877
通所介護	デイサービスセンターみぎわ園	TEL.0545-55-1800
在宅介護支援センター	みぎわ園	TEL.0545-55-1811
通所介護	ふようデイサービスセンター	TEL.0545-52-1397
居宅介護支援事業	ふよう居宅介護支援事業所	TEL.0545-52-5500
地域包括支援センター	富士市吉原西部地域包括支援センター	TEL.0545-30-8324



■ 旅立ち

みぎわ園 園長 戸巻 裕美夫

もうかれこれ三十年程前の、昔の話です。ひまわり園を卒園した人の中に、ある大物がいました。彼は週に一度は万引きをしていました。それもすべて食べ物です。これは皆、自分より年下の人達に分けられる物でした。そしてよく店の人に見つかって、色々な店から電話が来ました。「今、店の物を盗んだ子供を見つけました。金額はいくらです弁償して下さい」との電話です。オイオイ又か、今月になってもう十回目だぞ、叱られるのを覚悟で家を飛び出して店に向かう。店の前でその主人が腕を組んで待っていた。来た来た「どうもすみません」「ドウモではない！お前の所では、どんな教育をしているんだ。こんなやつ早くカンカン院に入れてしまえ、それが出来ないなら、どこか、遠くの方にやってくれ。もう、顔も見たくねえ。金を払ってトットと行きやがれ」電話で言われたお金を払って、ごめんなさいと、いっしょに頭を下げて、引き取って帰ってきました……。道々「お兄さんごめんなさい。どうしても、あの店の前に来ると自然に足が店の方に向かって、手が勝手に動くんだ。なぜだろう、今、考えても、なぜだ

かわからない。お兄さん、どうしたら良いか教えて！いつもお兄さんは、自分で何がいけないか考えてごらんと言うけれど……？しかし、取る事は悪いと解っているんだけど、何かしっくりこないんだ……。もし、ここにお金があれば、その金で色々買えるよね？でも俺は金がない。でも、そこにはほしい物が沢山ある。少しは我慢するんだけど、身体が勝手に動くんだ。どうしてかな～、そして、店の親父に手をつかまれて、はっとするんだ。自分の頭の中では、何故、何故、何故どうして又、やってしまったのだ、この身体と頭が悪いんだ。バカバカバカって思っている自分がここにいる」といった話を良くした。そして学校を卒業してここを出て、自活して行った。二～三年して、ひょっこり園に顔を出してくれた。「お兄さんこんにちは。休みでたまにはと思って帰って来たよ」とニコニコしながら近寄って来た。「元気だった？もう立派な社会人だね。その後変わりはしないかな～」「大丈夫、卒業した時、色々な事も全部卒業したんだ！ここにいる時は、皆に甘えていたんだ。だって、何をしてもちゃんとしてくれたじゃん。でも卒業と同時に、すべて自分の責任として生きて行くと自分に誓ったんだ。だから、旅立ちは俺達の心なんだ。その時から一人だもんな。心配かけました。もう安心して下さい」と大きな声で笑った。何か胸からポンと飛び出たような軽い気持ちになった。皆こう言う気持ちを持って旅立って行ったんだナ～と、自分のしてきた事が間違いではなかったと、心からそう思った。彼等にとっては、旅立ちは心の整理をすると言う事でもあったのだと思われる。皆んな皆んな良いやつばかりだったんだナ～。

みぎわ園



* みぎわ園 *

特別養護老人ホームみぎわ園ではご利用様に季節感を感じて頂きたく『節分祭』を催しました。またいつも室内で過ごしがちな皆様に外出の機会を作りたく『遠足』『外食』などを企画して行って参りました。これからもさまざまな行事を計画していきたいと思ひます。



* ふようデイサービスセンター *

平成23年12月22日(木)・23日(金)の二日間にかけて「クリスマス会」が行われました。

利用者様ご自身も変装されたりと、まるで子供の頃に戻られたようにとても喜ばれたおりました。

職員も個々に「大正琴」「ハンドベル」などの出し物を行い、共に共感できる「クリスマス会」になりました。

Merry *
* Christmas



* デイサービスセンター みぎわ園 *

デイサービスセンターみぎわ園では『その人らしさ』をテーマに特に女性には食事やおやつ作り、男性にはアート作品作りなどをご利用者様から希望があれば行って参りました。また季節行事として初詣や節分祭を行っております。

よいしょー!
どっこいしょ!



何を願っているのかな?



うまくひっくり返せたわ



わー 鬼がでたー!



ひまわり園

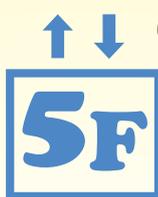


大震災から1年が経過しました。今後の日本の担い手たちが、また一学年大きくなります。遅しく成長する子どもたちの様子をお伝えします。

大地



この春、大地で生活していた子が高校を卒業し、看護学校への通学を始めました。高校卒業後も目的を持って学習を続け、自らの努力によって将来を切り開いていく姿は、他の子どもたちに良い刺激を与えています。



銀河



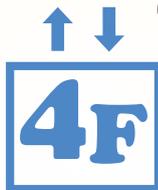
今年も、「卒業・旅立ちを祝う会」が行われました。銀河からも、1人の子が社会に旅立ちました。ひまわり園の子どもたちは、働く国民の皆様を支えられて生活しています。そうやって成長した子が、今度は支える側にまわるのは、感慨深いものがあります。

在園する子どもたち全員と職員たちに背中を押され、元気に旅立っていきました。

けやき



東日本大震災から1年がたった3月11日、発生時刻に合わせて黙祷が行われました。子どもは日々を生きています。過去を振り返ることはなかなかありません。だからこそ、「過去この時間に何かあったか」を伝える機会は大切です。職員が子どもに黙祷する意味と理由を伝え、一緒に黙祷を捧げました。



かえで



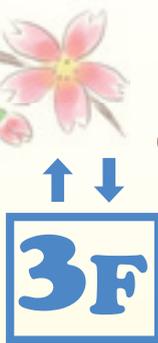
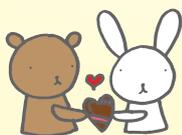
昨年度、かえでには6年生が4人もいました。

男子は中学生になると銀河へ移動するため、今はかえでにこの子どもたちの姿はありません。部屋にポッカリと穴が空いてしまったかのようです。銀河に上がった子どもたちが、かえでに残る子どもたちに、お兄ちゃんとしてかっこいい姿を見せてくれることを願っています。

いんどろ



ひまわり園では、月に一回、子どもたちが食育と自活訓練の意味を兼ねて調理実習を行っています。2月の調理実習では、バレンタインのチョコを作りました。作ったチョコを、仲の良い友達や職員にプレゼントしていました。



さくら



中学校へ入学する子どもの入学準備をしました。6年前、同じ子の小学校への入学準備をしたのを思い出します。

ひまわり園では、男子は中学生になると銀河の部屋へ移動し、担当も変わります。現担当としてはさみしさをおぼえます。子どもの成長をしみじみと感じつつ、入学準備をしています。



みどり園



あけましておめでとう!!

2012年1月1日、子ども達は新しい服に、幼児の女の子においては着物に着替えて新年をお祝いしました。食事もお正月らしいメニューとなっており、子ども達も普段とは違う特別な日であることを感じられたのではないかと思います。一人一人お年玉も頂き、各担当職員が考え、子ども達の為に使わせていただきました。

また、日中は手作りの凧を作り、寒さにも負けず外で元気よく走り回りました。

2012年、子ども達にとっていい年でありますように…☆



もっと速く走らないと凧が・・・



節分

園では恒例の豆まきを行いました。鬼退治のために新聞紙で豆を作り、意気揚々と鬼の登場を待ちました。しかし、鬼の登場にただ大泣きする子や、怖がって職員の後ろに隠れる子、一生懸命新聞紙の豆を鬼に投げ付けて、鬼退治する子など様々でした。その後、再び鬼が出て来て悪さや、病気をまき散らさないように「鬼は外!」。良いことや楽しいことがたくさんありますように「福は内!」と、願いを込めて職員と一緒に煎った豆を庭にまきました。



新聞紙で作ったお豆で鬼退治!!



鬼 参上!



うわあ〜捕まっちゃった (><:)

「鬼はーそと!
福はーうち!」



恵方巻を食べて元気モリモリ!



お正月料理、子ども達は少し苦手の様でした



あたしたちかわいいでしょ♪



あたしも早く着物着たいな。



園外保育

アンパンマングループは、伊豆・三津シーパラダイスに行ってきました。海の間近で、楽しみにしていたイルカのショーを見て喜んだり怖がったりしている子ども達の姿が印象的でした。



ミッキーグループは、キッズフォレストへ遊びに行きました。子ども達はトランポリンやボールプール、ふわふわ滑り台に大はしゃぎし、お昼には美味しいご飯をお腹一杯食べ、とても満足そうでした。

ひろみ



ひろみでは子どもひとりひとりの誕生日を皆でお祝いしていますが、職員の誕生日もお祝いします。

職員の誕生日会では、子ども達がパーティーの準備をしてくれます。この日の料理は職員からのリクエストで、肉じゃがを作っていました。



日々の生活の中で思いやりの気持ちを育んでいきたいです。



「自分を愛するように隣人を愛しなさい」

「子どもとお年寄りの幸せのために」

昨年3月11日の東日本大震災で多くの方々が被災され、いまだに復興への道筋が見えないところもあるようですが、力を合わせて復興に向かって進んでいくことを心から祈念しております。

本年は、私たちの法人・施設を取り巻く状況も大きく変わろうとしています。民法・児童福祉法の改定、児童福祉施設最低基準の都道府県等条例制定への変更など、社会的養護について検討され、社会的養護の課題と将来像が発表されました。この中で「子ども・子育てをめぐる社会環境が大きく変化する中で、すべての子どもを大切にす社会の実現が求められています。」と述べ、乳児院や児童養護施設などの方向性が示されました。基本的な考え方について、理念として「子どもの最善の利益のために社会全体で子どもを育む」という事が示され、その基本的な方向が示されています。

当法人は、平成23年みどり園の大規模改築に当たって前記のような考え方を踏まえ、工事を行い無事完了することが出来ました。この機会に、みどり園・ひまわり園・みぎわ園の現状をしっかりと検証し、社会的養護・介護施設の入所施設として内容を充実して行きたいと思っております。

尚、前理事会で承認されました吉原西部地域包括支援センターの事務所工事も完了し、オープンを待つ状態です。老人福祉その他の福祉問題を含め地域福祉の拠点として事業の発展を期待するところです。

本年も、子どもたちやお年寄りの皆様が今生きていることに喜びを感じて、豊かな感性を育みながら生活してくれることを期待しています。皆様のご指導ご支援よろしくお願いたします。

新事業所紹介

地域包括支援センター
富士市吉原西部地域包括支援センター



4月から新たに「富士市吉原西部地域包括支援センター」が開設されました。

私達の主な活動内容は、1、総合相談支援。2、介護予防ケアマネジメント。3、権利擁護。4、包括的継続的ケアマネジメントの4つです。

事業に対する職員配置は、センター長1名、経験看護師1名、主任ケアマネージャー1名、ケアマネージャー1名、社会福祉士2名、事務員1名の計7名で活動を始めます。

私達も、まだまだ未熟な部分ではありますが、地域の方、各事業所の方々に支えられ、一步一步を進んで行きたいと思っております。是非、ご協力を宜しくお願致します。



平成24年度 資金収支予算書

(自) 平成24年4月1日 (至) 平成25年3月31日

社会福祉法人芙蓉会 合計		(単位: 円)		
勘定科目	本年度 (A)	前年度 (B)	増減額 (A) - (B)	
経常収入	609,252,000	565,056,000	44,196,000	
介護保険収入	0	0	0	
利用料収入	0	0	0	
措置費収入	405,200,000	416,820,000	-11,620,000	
運営費収入	0	0	0	
私的契約利用料収入	0	0	0	
経常経費補助金収入	19,650,000	18,860,000	790,000	
寄附金収入	2,860,000	5,870,000	-3,010,000	
雑収入	8,115,000	7,965,000	150,000	
借入金利息補助金収入	325,000	373,000	-48,000	
受取利息配当金収入	940,000	943,000	-3,000	
経理区分間繰入金収入	6,000,000	41,000,000	-35,000,000	
経常収入計 (1)	1,052,342,000	1,056,887,000	-4,545,000	
経常支出	987,391,000	986,102,000	1,289,000	
人件費支出	697,794,000	649,634,000	48,160,000	
事務費支出	118,358,000	122,068,000	-3,710,000	
事業費支出	161,451,000	168,091,000	-6,640,000	
利用者負担減額費	1,193,000	1,193,000	0	
借入金利息支出	2,595,000	4,116,000	-1,521,000	
経理区分間繰入金支出	6,000,000	41,000,000	-35,000,000	
経常支出計 (2)	987,391,000	986,102,000	1,289,000	
施設整備等収入	0	74,320,000	-74,320,000	
施設整備等補助金収入	0	0	0	
施設整備等寄附金収入	0	0	0	
固定資産売却収入	0	0	0	
施設整備等収入計 (4)	0	74,320,000	-74,320,000	
施設整備等支出	15,566,000	120,045,000	-104,479,000	
固定資産取得支出	15,566,000	120,045,000	-104,479,000	
元入金支出	0	0	0	
施設整備等支出計 (5)	15,566,000	120,045,000	-104,479,000	
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	-15,566,000	-45,725,000	30,159,000	
財務活動収入	34,395,000	49,131,000	-14,736,000	
借入金収入	0	0	0	
借入金元金償還補助金収入	12,775,000	12,775,000	0	
積立預金取崩収入	21,150,000	35,686,000	-14,536,000	
その他の収入	470,000	670,000	-200,000	
財務収入計 (7)	34,395,000	49,131,000	-14,736,000	
財務活動支出	29,539,000	41,807,000	-12,268,000	
借入金元金償還金支出	27,150,000	36,030,000	-8,880,000	
積立預金積立支出	410,000	3,871,000	-3,461,000	
その他の支出	1,979,000	1,906,000	73,000	
流動資産評価減等による資金減少額等	0	0	0	
財務支出計 (8)	29,539,000	41,807,000	-12,268,000	
財務活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	4,856,000	7,324,000	-2,468,000	
予備費 (10)	3,550,000	2,670,000	880,000	
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	50,691,000	29,714,000	20,977,000	
前期末支払資金残高 (12)	274,445,054	245,198,406	29,246,648	
当期末支払資金残高 (11) + (12)	325,136,054	274,912,406	50,223,648	

大規模修繕・スプリンクラー工事完了のお知らせ



高齢者のグループホームの火災による悲しい事故により消防法が改正され、自力避難の出来ない利用者を生活させる千平米以下の施設にもスプリンクラーを設置することが義務づけられました。平成二十四年の四月一日より其の設備無くしては事業を継続出来ないことになっております。恩賜記念みどり園も其の対象施設となりました。此の度国、静岡県、富士市の補助金を頂き無事事業が完成したことを感謝と共にご報告致します。

恩賜記念みどり園は昭和五十年の事業として財団法人自転車振興会の補助金を頂き増改築して以来三十六年経過し屋根からの水漏れや冷暖房設備の老化などにより大規模な修繕も必要となりました。建設当初のみどり園は全員住み込みということで二階には十五の個室による職員寮を併設し建築されました。時代の変遷には逆らい様も無く寮で生活する事を希望する職員も居なくなり、寮も必要の無いものになってきました。この際用途を変更して施設機能の強化の為に模様替えをすることとしました。事業完成の為に平成二十二年度には設計と資金計画、二十三年度に実施ということでした。設計には従来からお世話になった二社に加えて富士市に登録している一級建築事務所の名簿から無作為に二社を選び、四社によるコンペに於いてゆたか建築設計事務所に依頼ということになりました。

事業は建物九百二十八平米へのスプリンクラー設置と貯水タンク、起動装置及び建物設備の大規模修繕である。大規模修繕では屋上の防水工事及び囲柵の改修工事、冷暖房装置の一部の改造、診察室、観察室の隔離性の向上、零歳児室の機能強化を考えた模様替えである。零歳児室、診察室、観察室には床暖房を施し、冷暖房装置は独立したパッケージにより隔離性を保持する事とした。二階での工事は個室五部屋の模様替えと雨漏りによる天井補修である。工事中の仮住居は確保出来ないため、先に二階の一部を乳児二十数名が生活出来るスペースを確保しその後の機能強化に繋がる模様替えを考えた。個室二室ずつを繋げて和室と洋室の二部屋及び一部屋を資料室とする模様替えである。

事業の実施については静岡、富士、沼津三土木事務所管轄内のA級建設業者で実績九百点以上の建設会社という条件付一般競争入札で実施した。ハ社が応札し、去る平成二十三年六月十日入札が実施され株式会社井上建設が落札した。

工事は七月中旬から始まり十二月二十五日完了、県の検査は平成二十四年一月三十一日に実施され無事完了となった。手順として二階の改修が七月から十月までかかり、二階で生活出来る様にし、子供達は二階に移り一階の工事にかかった。色々不便を感じたが無事工事が完成したことは有り難く感謝する次第であります。

補助対象工事費は73,543,250円、補助金の内訳は下記の通りであります。

■ 補助金内訳表 【1】社会福祉施設等耐震化等整備事業費補助金 【2】社会福祉施設等施設整備費補助金

工 事 名	国庫補助	静岡県補助	富士市補助	自主財源	計
スプリンクラー設置工事【1】	4,716,000	2,359,000	2,359,000	178,970	9,612,970
大規模修繕工事 【2】	31,682,000	15,841,000	15,841,000	566,280	63,930,280
非補助金対象補修工事	—	—	—	6,247,200	6,247,200
計	36,398,000	18,200,000	18,200,000	6,992,450	79,790,450

大変有り難いことは、富士市が福祉事業振興の為に、市独自の補助事業を条例化していることである。国、県の補助対象事業に関しては市が県の補助と同額の補助金を交付下さることである。これは他の市町村では無いことであるので富士市で社会福祉事業を実施する者にとっては大変有り難いことである事をご報告します。

ありがとう

当法人にたくさんのご寄付をいただきありがとうございました。
お礼を申し上げここに紹介させていただきます。(敬称略)

(株)東食品、岩崎真知子、石川米店、いいずみファミリークリニック、伊藤迪、伊藤芳亮、井上暉英、井上建設(株)、内野孝子、植村一郎、植村敏明、植田史和、岡正泰、小穴菅登、沖本洋子、岡部清作、岡田朋子、大嶽妙子、川合幸一、川村統勇、上村鮮魚、勝又長見、神尾みつ子、梶本衛、川島泰彦、(株)かつまた、金森治雄、カーブス、菊池光男、キミサワ駿河台店、行和開発、肉の栗清、コカコーラセントラルジャパン(株)、小林園、国際ソロプチミスト富士、小林栄子、古村富士子、子供に伝えるクラシック制作委員会、小坪厚美、小林哲代、佐藤真理子、坂本博、佐久間範博、佐藤健治、佐藤佳子、佐藤みどり、サンコー防災(株)、佐野町子、佐野勝也、佐藤昌之、齋藤保夫、齋藤千穂子、齋藤青無、静岡県アミューズメント協会、静岡県経済産業部農林業局茶業農産課、静岡県教育委員会社会教育課、静岡県紙業振興協議会、静岡労務経営研究所、志田覚、篠原桂子、白井ひろみ、白川洋子、ジヤトコ(株)、杉山幹根、鈴木政國、鈴木民江、鈴木四郎、(有)鈴吉商店、杉山富栄、須藤和夫、芹澤律子、田中薬品(株)、(株)高田自動車修理工場、立石法律事務所、立田恵子、田中敦子、(株)ダッドウェイ、地方紙正月連合企画係、戸巻ひさ子、戸巻紀美子、利根川三郎、内藤恵美子、内藤金物店、永嶋久代、中村隆一、ナガトカチコ、日本鏡餅組合、虹の会、日本ベビーフード協議会、布田保孝、根本順二・京子、(株)NET、野村幹三郎、原睦雄、(株)ハセチュー、福田屋、富士信用金庫今泉北支店、富士製パン(株)、(株)プレナス、本多光雄、ポリプラスチック(株)、松木正雄、(株)松野精肉店、増田正之、毎日新聞東京社会事業団、水野宏一、宮野征男、緑ヶ丘園芸、明治牛乳伝法販売所、望月佳敏、望月保夫・瑠美子、望月千夏、望月一男、山田雄太、山下雄司、ヤマグチ電機(株)、ゆたか建築設計事務所、吉原小学校、吉原第一中学校、渡辺建設工業、渡辺千恵子、渡辺紀子、渡辺孝、渡井公平、ワールドメイト横浜エリア支部、渡辺福司

(H23.12.1~H24.2.29)

後援会会員芳名 (敬称略)

青山百合子 伊藤芳亮 内田牛乳店 遠藤 健
佐藤健治 白井ひろみ (有)鈴吉商店 月岡米子
戸塚保次 戸巻ひさ子 戸巻紀美子 内藤恵美子
芳賀正治 芳賀道子 望月保夫・瑠美子
ヤマグチ電機(株) 吉原教会 (株)大松園

後援会について

年間会費 } 1口 1,000円 会社 } 1口 3,000円
個人会費 } 何口でも結構です

振込先

郵便局振替口座
・口座番号 00880-0-2423
・口座名称 芙蓉会後援会

ボランティアさん 紹介

「富士市立吉原第二中学校 生徒の皆さん」

富士市立吉原第二中学校はJRC(静岡県青少年赤十字)に加盟しており、「気付き、考え、実行する」をJRCの行動目標に掲げ、校内外に渡り様々なボランティア活動に取り組まれています。その活動内容の一つでもある福祉施設訪問において、有志を募り、みどり園でボランティア活動をしていただいています。



感想

- ★このボランティアをやってみて、仕事の大変さや、楽しさが分かって良かったなと思います。
- ★子ども達の安全を確認しながら相手をするのは難しかったです。
- ★私には弟や妹がいないので、小さい子と触れ合うことは新鮮でした。とても楽しかったです。
- ★みんなとても可愛く、遊んでいても、とても楽しくて時間が過ぎるのが早く感じました。私は将来、保育士になろうと思っています。またボランティアに来て、いろんなことを勉強して、将来に役立てたいと思います。

目安箱

(H23.9~H24.9)

施設名	時期	内容	回答(対策)
ひまわり園	2月	近隣の方より、「牛乳パックが庭に落ちていた。ひまわり園から投げ込まれた物だと思う。」との苦情を受ける。	落ちていたという牛乳パックを確認したところ、確かにひまわり園の朝食によく出るものだった。おそらく、子どもがベランダから階下に投げたものと思われる。牛乳パックを引き取り、現物を子どもたち全員に見せながら、近隣の方の気持ちを職員が代弁して伝えた。苦情をいただいた近隣の方には、改めて謝罪に伺い、子どもたちに注意したことをお伝えした。

※今回、他の施設はありませんでした。

編集後記

例年よりも遅い桜の開花を迎え、やっと本格的な春の訪れを感じられるようになりました。そして、あの大震災からは一年が過ぎました。どんなに寒さの厳しい冬の後にも暖かい春が必ず訪れるように、まだまだ辛い状況に置かれている被災地の方々に心からの笑顔が戻ることを信じ、応援し続けていきたいと思ひます。